

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 12日

事業所名 多機能型事業所ふおるて

有効回答者数 8名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2	広く場所が使えるように机の出入りには気をつけている。	親子療育の参加者数が多いとやや狭く感じることがあるので、活動内容や動線の工夫をする。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	活動内容に合わせて対応人数を増やす。	今後も継続する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	コロナ感染予防の配慮も考えて行っている。	排泄の失敗をした時の処理場所として、風呂場を使えるように片付けておく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	毎日消毒し、おもちゃも週に1回消毒し清潔にしている。	今後も継続する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	業務のマニュアルやフローを作成している。	今後も継続する。職員全員が集まる機会も増やす。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	貴重なご意見として、日々の業務改善、ニーズへ対応を心掛けている。	今後も継続する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	ホームページで公表し、改善につなげている。	今後も継続する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	関係機関職員、見学を通して意見を頂いている。	第三者委員会はないが、日々外部の方と交流し、意見を取り入れる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	年間5回程度の研修会を実施し、外部講師も依頼している。	今後も継続する。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	状況に合わせて作成している。	今後も継続する。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	発達検査等を用いている。	今後も継続する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	カンファレンスを丁寧に実施し、ガイドラインに沿った適切な支援を心掛けている。	今後も継続する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	目標に沿ったカンファレンスを実施している。	今後も継続する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	月に1回チーム会議を開催し話し合っている。	今後も継続する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	会議の時間以外にも適宜声を掛け合って常に工夫する雰囲気、習慣を作っている。	今後も継続する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8	0	一人一人に合わせた支援方法を計画している。	今後も継続する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	8	0	打ち合わせを必ず行っている。	今後も継続する。
	18	8	0	毎回振り返りを行っている。	今後も継続する。
	19	8	0	記録をし、日々振り返るようにしている。	今後も継続する。
	20	8	0	定期的なモニタリングを行っている。	今後も継続する。
関係機関や保護者との連携	21	8	0	児童発達支援管理責任者および支援員が参加している。	今後も継続する。
	22	8	0	適宜、地域の医師、保健師等と連絡を取っている。	今後も継続する。
	23	/		該当なし	
	24	/		該当なし	
	25	6	2	保育所等訪問支援も活用し、園との連携を行っている。	保護者からの希望もふまえて対応していく。
	26	7	0	年長児は「かけはしシート」により小学校へ情報提供している。	今後も継続する。
	27	7	1	連絡会等で情報交換、事例検討会を行っている。	今後も継続する。
	28	0	8	一般園との交流は、現実的には難しい。	機会を作るにはどうしたらよいか検討していく。
	29	8	0	毎回参加している。	今後も継続する。
	30	8	0	保護者の入室がコロナにより難しい時期は、顔を合わせたら情報を伝えている。定期的に面談を行い悩み等を共有し助言している。	今後も継続する。
31	8	0	おしゃべり会を適宜開催している。	今後も継続する。	
	32	8	0	個別に時間を設け、説明を行っている。	今後も継続する。
	33	8	0	丁寧な説明をし、同意を頂いている。	今後も継続する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	定期的プラス適宜必要に応じて行っている。	今後も継続する。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	コロナにより保護者同士の連携などの機会は少なかったように思う。 父母の会は無いが「おしゃべり会」を開催し交流を図っている。	コロナの影響により、コミュニケーション不足があったことがわかった。声を掛け合うことで安心できるので、2人ずつの保護者を入室させていくなどの対応をしていくことは大事だとわかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	いつでも相談できる雰囲気づくりと周知を心掛けている。	今後も継続する。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	毎月の活動の様子をHPに載せ、施設に掲示もしている。緊急連絡は、一斉メールを送信している。	引き続きHPを中心に情報発信を行う。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	十分注意している。	今後も継続する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	十分配慮している。	今後も継続する。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	地域の方との交流を持つことが難しい。	機会を作れないか、継続して検討する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	マニュアル類の作成、定期的な訓練を実施している。	今後も継続する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	年間計画を作成し実施している。	今後も継続する。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	必ず確認をしている。	今後も継続する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	全員からアレルギーに関する情報をもらい、保護者等からの指示を受けている。	医師の指示書がない場合など、保護者を通じて医師の意見等も適宜伺う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	過去の報告書を職員が見て今後に活かしていけるようにしている。	今後も継続する。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	外部講師を依頼し実施した。また虐待チェックリストに沿って見直した。	今後も継続する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	当事業所ではどのような場合においても身体拘束は行っていない。	今後も継続する。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。